



はなみずきだより

9・10月

令和8年9月1日(火)
武蔵野市立第四小学校
特別支援教室 拠点校校長
小 泉 裕 樹
はなみずき教室

学校行事で輝く子供たち

武蔵野市立第三小学校

校長 新井保志

2学期が始まり学校に元気な姿の子供たちが戻ってきました。子供たちは長い夏休みのならではの学習をしたり経験・体験をしたりと充実した時間を過ごしながらたくさんの思い出をつくることができたことと思います。2学期は各校において大きな行事が控えています。学校行事は子供たちに次のような力を育みます。

○**協調性と連帯感** : 友達と協力し、目標に向かって同じ目的に向かうことで、集団の一員としての所属感や絆が深まります。

○**主体性と自主的態度**: 実行委員や係活動などを通して、自分で考え、すすんで行動する実践的な態度が培われます。

○**やり抜く力と自己肯定感**: 練習や準備を乗り越えて本番をやり遂げることで、自信や達成感が生まれます。

○**コミュニケーション能力**: 意見を出し合ったり、互いの頑張りを認め合ったりすることで、人間関係をつくる力が身につきます。

行事を前に、いつもと違う時間割や急な予定変更、隣のクラスの友達とのかかわり等、通常の学校生活とは異なる場面に遭遇することも多くなります。そのような状況下においても、はなみずき教室でこれまで積み重ねてきた学びを生かして、安心して行事に参加し学校行事で輝けるよう支援していきます。

保護者の皆様のご理解とご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。



【デジタルデバイスとスクリーンタイム】

テレビ、タブレット、スマートフォン、ゲーム…。子供たちは私たち大人の時代と比べて、便利で刺激的な文明の利器であるデジタルデバイスに囲まれて過ごしています。スクリーンタイムとは、画面を見る時間のことですが、今、子供たちのスクリーンタイムが長いことによる影響が懸念されています。



2025年に『福井大学』から「子供のスクリーンタイムと、注意欠如多動(ADHD)症状、脳の構造との関係」の研究結果が発表されました。約1万人のを大規模データを分析した結果、スクリーンタイムが長い子供ほど、2年後にADHD症状の得点が高くみられる傾向があり、あわせて脳の一部で皮質が薄くなる傾向があることが明らかになりました。

これらのデバイスが生活の一部となる中で、どう付き合っていけばいいのでしょうか。ヒントとなるこんな研究があります。

2023年に『浜松医科大学及び大阪大学の研究グループ』は「子供の頻繁な外遊びがスクリーンタイムの望ましくない影響を緩和する」ことを明らかにしました。この研究では、「外遊び」とは、1日に30分以上外気にふれて息が多少弾む程度の活動を行うこととされています。必ずしも外で走り回る遊びだけではなく、外での散歩や長時間の買い物も含まれるそうです。

デジタルデバイスを置いて、ぜひお子さんと自然の中へお出掛けしてみたいはいかがでしょうか。

【保護者面談のお知らせ】



9月28日(月)～10月30日(金)の期間、保護者の方と担当教員の面談を行います。直接お会いして、お子さんの学校やご家庭での様子について確認し、はなみずきからは前期の指導の振り返りや後期の指導の方向性について話し合いたいと考えています。ご多用とは存じますが、ご協力をよろしくお願いします。なお、面談場所や日時に関しましては、後日、連絡ファイルやお電話などでお知らせします。

7月の活動報告



みんなで楽しめる会にしよう

7月の小集団指導では、「提案・相談」の学習として、みんなで楽しむ「お楽しみ会」の計画と実践に取り組みました。活動を決める話し合いでは、「みんなが楽しめる活動にしたい。」「安全面を重視したいな。」などの理由を添えて自分の考えを伝える姿が見られました。また、自分の意見が通らず悔しい気持ちになりながらも、友達の気持ちを意識して折り合いを付けようとする姿もあり、葛藤を通じた子供たちの「心の成長」が感じられる場面もありました。お楽しみ会当日は、司会やルール説明などの自分の役割を堂々と果たしたり、ペア活動で「お先にどうぞ。」と相手のペースに配慮したりと、互いを思いやる行動がたくさん見られました。2学期も、互いに気持ちを伝え合い、折り合いを付けながら関わり合う力を高められるよう、子供たちの成長をサポートしてまいります。



Gボールで育てるさまざまな力

個別指導の中で、一人一人の課題に応じてGボール（バランスボール）を取り入れた活動を行っています。Gボールの上で姿勢を保ったり、手足で体を支えたり、バランスをとりながら手足を動かしたりする活動を通して、体幹や体のバランスを整え、自分の体を思い通りに動かす力を育てています。また、体の動きを意識して取り組むことで、姿勢を保つ力や集中する力など、ねらいに応じた力を育むことを目指しています。

活動では、Gボールの上で足だけで姿勢を保つ「2点バランス」という難しい技にも取り組んでいます。「できるようになりたい!」と何度も挑戦したり「一人でやってみる。」と意欲的に取り組んだりする姿も見られます。こうした「やってみよう」という気持ちや「できた!」という達成感を大切にしながら、自信や粘り強さを育ていけるよう取り組んでいます。今後も、それぞれの課題や成長に合わせた活動を通して、学校生活につながる力を伸ばしていけるように支援していきたいと思ひます。

